

7/15 PTA 例会(情報モラル教室→全体会→学年懇談→学級懇談)

「1 学期を振り返ると、コロナ禍の中、運動会は競技を工夫しながら去年よりはできたと思います。中体連も観客の制限や一般応援ができませんでしたが、競技は普通にできたので良かったです。陸上（3の1 工藤逞仁君：100m）とソフトテニス（3の1 荒関拓斗君・3の2 鳴海陽斗君ペア）で県大会に出場する選手もいます。

3 年生は今月、修学旅行でしたが、体の調子が悪くなる生徒もなく、全員無事に帰ってきました。これはなかなかあることではありません。

1 年生は初めての期末テストがあって緊張したかと思いますが、いろいろと頑張ってくれたと思います。

2 年生は、地域の方々との清掃ボランティア活動を行うことができました。今後も地域の方と関わる活動を続けていきたいと考えていますので、協力をお願いしたいと思っています。

先程は、情報モラル教室を開催しましたが、是非、保護者の皆様全員に聞いていただきたい内容でした。他人事ではありません。インターネット上のゲームの課金のし過ぎ、SNS 上での友だちとのトラブルは、本校でも発生しています。上手く使うと便利なものですが、使い方を間違えるとトラブルにつながってしまう可能性があるので十分気を付けさせたいものです。



コロナウイルス感染症の影響で、上手くできなくなっていることもまだありますが、2 学期に開催予定の浪中祭の内容につきましては、夏休み後のコロナウイルス感染症の状況を見て、できる範囲で決めていきたいと考えています。御家庭でも励ましてあげてください。」（全体会での校長のお話）

☆ 5時間目は、情報モラル教室

情報モラル教室の講師の先生は青森市教育委員会指導課の指導主事の先生です。

多目的ホールからネット配信中です。

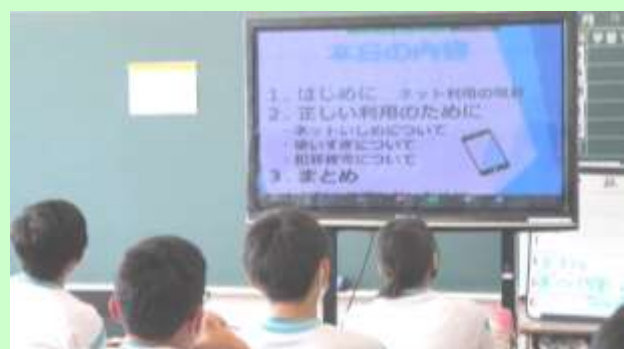


保護者の皆さんは、体育館で参加しました。参加して下さった皆様、ありがとうございます。



<生徒の皆さんの感想>

- ・ネットを使ったコミュニケーションはとても便利なので、勘違いなどでトラブルが起きないように、相手に自分の顔を見えていないということを意識してネットを使っていきたいです。
- ・家でのスマホの使い方のルールをしっかりと守り、依存症にならないように、また相手に嫌な気持ちをさせないような SNS の使い方をしていきたいと思いました。
- ・ネットで会話をしている自分が何か文を送るときに、何か誤解をされそうなことを言っていないか確認してから送信します。また、もし誤解させてしまったらすぐに謝り、本当の気持ちを伝えたいです。相手から勘違いしそうな文章が送られてきてもすぐに熱くならず「こういうことを言いたかったのかな？」と考えます。そして、自分と家族で作った規則をきちんと守り、限度を守って使用します。



生徒の皆さんは各学級の教室で、大型テレビの画面を見ながら、学習しました。

☆ 1学期を振り返って

☆ 初めての中学校生活でわからないことがたくさんありましたが、みんなで力を合わせてここまで来たんだという実感があります。1 学期で一番印象に残っているのは、運動会です。小学生と全然違って、すぐ中学生っぽい運動会でした。（1の2女子）

☆ 1 学期の社会では地理が楽しかったです。2 学期頑張りたいことはたくさん発表することです。2 学期も頑張ります！

（1の5女子）

☆ 一番とっていいほど、部活を頑張りました。技術だけでなく、気持ちやメンタルもしっかりと鍛えて、努力できたと思います。2 学期は、力もつかりとつけて、誰にでも認められるようなエースになっていきたいなと思います。勉強にも集中して一生懸命取り組みたいです。

（2の1女子）

7/20 1年生は薬物乱用防止教室、3年生は思春期教室 保護者の皆様は家庭教育学級

(2年生は講師の先生の御都合で8月に食育教室を実施予定)

1学年：薬物乱用防止教室

講師は学校薬剤師さん



<1年生の感想>

- ☆薬物は1回使っただけで犯罪になることがわかりました。脳も悪い状態のままずっと続いて怖いと思いました。怪しい薬、よくわからない薬でも飲んじやいけないとわかりました。よくわからない薬を人に飲ませたら犯罪につながるわかりました。
- ☆薬物は所持することや1回だけで使用とされるし、一度使って脳が溶けた元に戻らなくなることがわかりました。普通に売っている薬でも使い方を間違えたら薬物乱用になるので気を付けたいです。また、薬物を誘われたときの断り方をしっかり自分で考えることができたし、もしも進められたときに話題を変えるなどの断り方を教えてもらったので、進められたときは断りたいです。今日学んだことを忘れず将来に生かしたいです。
- ☆薬物を使うと、家族・友達など、いろいろな人たちが悲しむことになります。そういう人々を悲しませないように、自分で自分を壊さないようにするために断ります。

3学年：思春期教室

講師は保健師さん & 本校養護教諭



赤ちゃんのおむつ交換に挑戦中

<3年生の感想>

- ☆命というのは、2～5億個の中から選ばれて生まれてきたものであるため、この大事な命は一生大切にしていかなければならないなあと思いました。とても小さな受精卵が僕たちのように大きくなったのは、すごいことであり、いろんな人に支えられて育ったので、感謝の気持ちをもち続けたいです。



保護者の皆さんは2つの学年の教室を自由に参観していました。参加して下さった皆様、ありがとうございます。玄関で受付をして下さったPTA研修委員の皆様も、ありがとうございました。

- ☆思春期の心や体の変化について勉強して、心のエリアでは、「思春期の心の特徴」にあてはまるものがいくつかありました。また、これから大人になるにつれ、責任をもって自己決定することが大切だとわかりました。体のエリアでは、命の誕生と尊さがわかりました。また、赤ちゃんの抱っこやおむつを換えるなどして楽しく学ぶことができました。

<保護者の皆様の感想>

- ☆若いときのちょっとした出来心が一生をダメにしてしまうので、家庭でも注意していきたいと思います。
- ☆薬（市販薬）の使用方法がよくわかり、とても良いと思いました。
- ☆薬物についてのお話を聞いたのは、初めてでした。法律で禁止されている薬のことは知りつつ、どのようにお話されるのかなと興味がありました。でも、薬はいつ飲むの？と中学生が理解できるものから入っていったので、とても違和感なく聞くことができました。思春期の今、いろんなことで心が折れて薬物に手を出さないためにも、今、このようなお話を中学1年生の皆さんが聞くことができたのは、とても意味があるかなと思いました。ありがとうございました。ロールプレイ後の受け答えもしっかりしていました。
- ☆赤ちゃん人形を順に抱っこするとき、席を立て、自分から迎えに行き、大事そうに抱える姿を見て、近い未来、すてきなお父さん、お母さんになる姿が想像できました。
- ☆人形の赤ちゃんにおそろおそろおむつを換えていたのが印象に残りました。
- ☆命の大切さと自分の子どもの成長を振り返られたので良かったです。ありがとうございました。
- ☆3年生の体育館でスライドショーを見る際に、最初、機械の調子がよくなく待ち時間が長くなっても、じっと静かに待っている3年生の皆さんの姿に感動しました。

☆少しずつ進んでいます！『1人1台端末』(クロムブック)を活用した学び

7月のある日の授業を紹介



3の2：理科

一人一人が予想したことを画面上の図に書き込み、それを全員が見られる状態にしています。



1の1：英語

「デジタル教科書」が読み上げます。今までのCDや単語のフラッシュカードが不要になりました。



3の5：総合的な学習の時間

SDGsについてクロムブックで調べたことをまとめたレポートを自分のクロムブックで作成し、みんなに説明中。

7/7~9 修学旅行(秋田・岩手方面 2泊3日のバスの旅)

<修学旅行スローガン> **社会を学び、未来を拓いていこう~With コロナ~**

出発の挨拶「旅行後や数年経った後に、『自分たちの修学旅行はコロナで大変だったけれど、楽しかったな』と思えるようにとの願いを込めたスローガンです。今年度の修学旅行の実施は難しいのではという状況の時期もありましたが、それでも実施すると決めてくれた保護者の方々や先生方に感謝して『最高の思い出になった』と言えるような修学旅行にしましょう。」(3学年生徒会長)

【1日目】あきたエコタウンセンター → 三陸鉄道に乗って震災学習 → 龍泉洞



秋田県小坂町にある明治時代からの芝居小屋であり、国の重要文化財に指定されている「康楽館」にて、リサイクル事業を中心とする環境に優しい循環型社会を目指したあきたエコタウンセンターについての説明を聞き、実際に工場群を車中から見学。



岩手県久慈市にある久慈駅から、被災地の復興のシンボルといわれる三陸鉄道に乗って、東日本大震災についてのお話を聞きながら田野駅まで向かいました。



岩手県岩泉町にある日本三大鍾乳洞の一つで国の天然記念物にしている龍泉洞世界有数の透明度を誇る目の覚めるような青い地底湖をみんなで歩きました。浪中生にも一番人気のスポットでした。

震災列車では被災した当時の写真と今の風景を見て、復興への苦勞を感じました。高くなった堤防が津波の恐ろしさを表していると思います。自然災害が身近な私たちは他人事ではなく、真剣に防災について考えなければならぬと思います。狛鼻溪の船下りでは、ゆっくりと川を下りながらたくさんの自然を感じました。この場所にいる魚はとらないという話を聞いて、豊かな自然を守るための工夫がされていることを知りました。森や山が身近な青森でも大切なことだと思います。今回の見学場所はどれも豊かな自然や想像できないほどの長い歴史のあるものばかりでした。これらは人が守っていかなければならないものだと思います。大切なものを守るための工夫、努力、苦勞などをこの旅でたくさん知り、考えることができました。(3の1女子)

この旅行が成功するか心配でした。県内でもコロナが出ているからです。コロナが広まっている状況の中で、他県からの旅行者を迎え入れるのは不安があったと思います。でも、三日間この人たちも私たちを温かく歓迎してくれました。行先の人たちだけでなく、見学先やホテルまで案内してくれたガイドさんやこの旅行を企画してくれた人たちにも感謝しなければなりません。行先ごとに換えなければならないマスクや除菌シートをたくさん用意してくれました。この旅行の中で、見学先で学んだことも大切だけど、それ以上に、楽しい修学旅行にしてくれたたくさんの人たちに感謝の気持ちを忘れなようにしたいです。(3の1女子)

【2日目】 サハラガラスパーク・巖美溪 → 狛鼻溪 → 中尊寺



岩手県一関市巖美町にあるサハラガラスパーク。世界のガラス工芸品 1 万点を展示販売。ガラス工芸体験コーナーで自分だけのオリジナルのコップを作りました。



岩手県一関市の北上川支流の砂鉄川沿いに、高さ 50m を超える石灰岩の岸壁が約 2 km 続く溪谷である狛鼻溪で舟下り。大正時代に、国の史蹟名勝天然記念物に指定、日本百景のひとつ。



一番人気だった 2 日目の昼食。「しゃぶしゃぶ」か「すき焼き」を選んで食べました。この写真はしゃぶしゃぶ。



岩手県平泉町にある世界遺産中尊寺の歴史について学びました。金色堂は国宝でもあります。

【3日目】 盛岡八幡宮 → 小岩井農場 → 尾去沢鉱山



岩手県雫石町にある明治末期から昭和初期にかけて建設された国指定の重要文化財「小岩井農場施設」を見学。今でも牛舎には、牛さんがたくさんいました。

エコタウンセンターでは、初めて都市鉱山があることを知り、環境を守るためにリサイクルに興味をもつと思いました。三陸鉄道では、初めて現地を見たり、被災した人の話を聞いたりしました。その中で、津波の恐ろしさや一人一人の防災が大切だと思いました。また、自分の防災について家族と相談していないことに気づき、これからの防災についてしっかりと家族と話し合っていきたいと感じました。龍泉洞では、水がきれいで青色が神秘的だと感じました。巖美溪や狛鼻溪では、どちらも岩や木、川などのコントラストがきれいで迫力があり、特に狛鼻溪では高い崖のそびえたつ中を川下りをして、言葉が出ませんでした。前沢牛のすき焼きがとてもおいしくて感動しました。ご飯が進んでまた食べたくなりました。(3の2女子)



秋田県鹿角市にある近代化産業遺産に認定されている史跡尾去沢鉱山を見学。708～1978 年まで金や銅が掘られ、日本でも産出量の多い鉱山でした。

三陸鉄道では震災の怖さがよくわかりました。波が 38m 宇の高さまでくことに驚きました。女性が子どもやおいちゃん、おばあちゃんのために山を降りて行ったという話が一番心に残りました。「てんでんこ」という言葉の意味もわかりました。これらの話を聞いたことを生かして、大震災が起こる前に家族だけでなく、地域の人とも避難場所を確認しておきたいです。小岩井農場では、牛だけで 2400 頭いるということに驚きました。「小岩井」という名前の由来が、3 人の人物の頭文字だということがわかりました。ソフトクリームが味が濃くておいしかったです。修学旅行で言われる前に自分たちで行動したり、先生の言っていることをしっかり聞くことができたりしたいと思います。普段の生活にも生かしていきたいです。(3の2女子)



